

文化の秋を満喫！

気高町浜村地内／10月28日(土)・29日(日)
 「第14回気高ときめきまつり」が、気高町農業者トレーニングセンターを主会場に開催されました。町内の学校やサークルなどの作品展示のほか、28日は気高中学校の文化祭、29日は芸能発表やコンサート、民謡「貝がら節」にちなんだ歌や踊りなどが披露されました。また、本のリサイクル市、食の屋台村や日光集落特産の新生姜の即売など多彩な催しが行われ、多くの来場者でにぎわいました。



西郷工芸祭の

河原町牛戸地内／10月28日(土)
 「第2回西郷工芸祭り」が西郷公民館を会場に開催されました。鳥取県の作家と地元鳥取市で活動する作家による工芸作品の展示・販売や、人間国宝の前田昭博さんによるトークショー、地域の特産品の販売、陶芸体験のワークショップなどさまざまな催しが行われました。この日はあいにくの雨模様でしたが、多くの人が訪れ、工芸作品を見たり作家と話をしたりしながらお気に入りの一品を買い求めていました。



認知症の人を見守る訓練

用瀬町別府古用瀬地内／10月26日(木)
 認知症の人をあたたく見守ることができるよう「認知症徘徊者捜索模擬訓練」が行われました。家族の110番通報で認知症の人の捜索依頼を受けて訓練開始。地域住民が徘徊役のボランティアを発見すると、ゆつくりとやさしく声をかけ、本人確認後に見守りと併せて警察に発見通報。その後、警察署員や消防署員が保護して家族へ引き渡しました。最後に、参加者でこの訓練を振り返り、感想や意見を話し合いました。



活気あふれる「くふまつり」

国府町地内／11月3日(金・祝)
 国府町コミュニティセンターで「万葉のふる里くふまつり」が開催され、町内外から約4200人が来場しました。国府中学校吹奏楽部の演奏や各地区公民館で活動している団体の芸能発表会では、出演者が日ごろの成果を披露しました。また、映画会では「ドラえもん」が上映され、親子連れに大人気でした。ほかにも、出店やバザー、こどもまつりが行われ、中でもビンゴゲームでは一際大きな歓声が上がっていました。



14年ぶりの「鳥取場所」大盛況

布勢地内／10月26日(木)
 大相撲秋巡業「鳥取場所」が県民体育館で開かれ、約3500人のファンが4横綱や地元出身の石浦関らに熱い声援を送りました。「初切」や「相撲甚句」は巡業ならではの行事で、関取がユーモアあふれるパフォーマンスを披露。力士が子どもと対戦するちびっ子わんぱく相撲では、小中学生が大きな力士に果敢に挑みましたが、軽々と持ち上げられたり、腹で突き飛ばされたりして、会場は声援と笑いに包まれていました。



豪華客船を歓迎

港町地内／10月16日(月)
 日本一周クルーズ中の豪華客船「ばしふいっくびいなす」が3年ぶりに鳥取港に寄港し、ゆるキャラや賀露町伝承芸能保存会による元唄貝殻節の踊りで乗客約200人を出迎えました。鳥取砂丘など鳥取を丸一日楽しんだ後の出港の際には、保育園児によるマーチングや市観光協会連によるしゃんしゃん傘踊りが披露され、乗客は船のデッキで楽しそうに見学。船は、名残惜しそうに次の寄港地へ出発していきましました。



中核市
 お知らせ
 コーナー
 平成30年4月1日
 中核市「鳥取市」誕生！
 vol.29

鳥取市の中核市移行が決定

本市が中核市へ移行するための法的な手続きは、これまで順調に進んできました。平成30年4月1日から、鳥取市、松江市など6市を中核市とする政令が公布され、本市の中核市移行が正式に決まりました。
 中核市は全国に48市あり、6市が指定されると合わせて54市になります。

中核市移行により、保健所業務などの事務権限の拡大を生かして、ワンストップサービスの拡充や地域のニーズに即したサービスの充実を図ります。併せて、地域経済の発展や山陰東部圏域の発展をめざした都市づくりを進めます。



中核市移行までのスケジュール

時期	内容
平成29年 3月	市議会で中核市指定申出の議案を議決
4月	県知事に中核市指定の同意を申入れ
6月	県議会で中核市指定の同意について議決
7月	県知事から中核市指定の申出の同意書の交付を受ける 総務大臣へ中核市指定を求める申出
11月	中核市指定の閣議決定、政令公布
平成30年 3月	県から市への事務引き継ぎ
4月1日	中核市「鳥取市」誕生 (仮称)鳥取市保健所 開設

問 本庁舎 中核市推進局
 0857-203125
 0857-203040
 chukakushi@city.tottori.lg.jp